

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護  
 ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介  
 つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら◆鍼灸てのひら治療院



vol. 247通信  
 R3年2月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
 愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036  
 代表TEL：(0567) 26-3921  
 FAX：(0567) 26-3922  
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

**問合わせ・見学 大歓迎！！**

《利用状況案内板 (☆募集中★満員)》

☆ナイス・ケア

☆ナイス・デイ (定員 10名)

月	火	水	木	金	土
9	9	7	7	8	6

☆ナイス・ホーム (定員 17名、現在登録者 14名)

☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 13名)

☆つしま紹介所 (有料職業紹介)

家政婦(夫)さん募集中！！

《2月行事予定》

※新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、行事は自粛しています。今後の行事予定も状況に合わせて変更する可能性があります。ご了承下さい。



《営業に関するお知らせ》

- ・打太鼓 → 休止中
  - ・コーラス → 休止中
  - ・ナイス・キッズ (学童保育・託児) → 今年度は休止
  - ・鍼灸てのひら → 対象者を利用者さん・職員に限定し営業中
  - ・喫茶てのひら → 時短営業 (9:00-12:30)
- 詳細はお問い合わせ下さい。



状態を見極める／ナイス・ホーム

約、1年半前、居宅のケアマネさんから紹介され、ナイス・ホームに登録された一人暮らしのBさん。体調が安定している時は通いや訪問の関わり、体調が悪く、一人で不安な時は臨時の泊まりを利用。そんな繰り返しで、趣味の釣りに出かけたりして、昨年冬まではお一人暮らしを満喫してみえました。しかし、徐々に病状が悪化し、入院、手術…。そして退院後、すぐにホームの連続の泊まりを利用して24時間の関わりの中で、とても自宅で一人で過ごす事は難しいだろうと本人と話し合い、結果、施設入居(愛宕の家)を決断されました。施設入居を相談している時期、ご本人は『まだ、一人で過ごせるかもしれない』という想いと、『一人では不安だ』という想いと揺れ動いてみえました。私は、ケアマネとして、体調と日常生活の様子を総合的に把握した上で、助言や判断をしなくては行けないと責任を感じていました。

現在、体調は不安定になり、お薬の調整も必要で、誰かが24時間見守っていなければ安心と言えない状況です。あの時の選択が良かったのか…いつもフツと頭をよぎります。Bさんに限らず、必要な選択を迫られる場面は今後もあると思っています。その時にできる限りよい方向に向かえるような的確な助言ができるだけの、知識と経験、情報収集の力をつけたいと思います。(Y・O)

餃子包みはお手のもの。  
 あっという間にパツパツぱいに並びます。



毎年恒例の冬の風物詩。  
 切り干し大根。  
 栄養満点にな～あれ！

久しぶりの来店で…／喫茶てのひら

ある日曜日の朝、『1年ぶりにお邪魔しました』と80代後半のご夫婦がてのひらにみえました。この1年、奥様も癌を患われ、入退院の繰り返し、落ち着いたと思った頃に今度は娘さん。そしてご主人…。人間にとって避けては通れない生老病死の四つの苦悩。このご夫婦にとって、この1年は壮絶な日々だったと想像します。そんな時、“てのひら”を思い出して、こうして来店して下さったことに感謝です。

これからも、病気との闘いは続いていくであろうご夫婦に、心の中でエールを送ると共に、また足を運んで、ホッと一息ついてもらえる“喫茶 てのひら”でありたいです。  
 またのご来店をお待ちしております。(M・O)

調理を通して／ナイス・ケア

食事の見守り、お手伝い等で週に6日Aさん(90代後半)のお宅へ訪問しています。調子が悪く、口まで運べない場合はお手伝いをしますが、声かけや食器の配置等、ちょっとした援助で、ほぼご自分で召し上がられます。食事中は、「いいお味、美味しい」と笑顔を見せてくださり、『ちょっと量が多いかな』と思っても残される事なく、大体完食されます。

そんなAさんですが、以前は違っていました。野菜はお好きではなく、野菜には箸がつかせませんでした。ご高齢という事もあるのか、徐々に食が細くなり、好物しか召し上がらなくなりました。そのためか便秘気味。『何とか野菜を摂ってバランスの良い食事を』と、野菜をポタージュにしたり、スープにしたりと献立を工夫されましたが、常に便秘気味でした。

ところが、ある時期から、野菜が摂れるようになり、食欲もでてきました。そのきっかけは、よりAさんの嗜好にあった食事を提供できるようになったからではないかと想像します。色どりや盛り付け等の見た目や、食欲をそそる風味、味付け、

ちょうど良い触感、バラエティーに富んだメニュー。目と鼻など、五感を刺激する調理で変わる食欲を真近で見ました。一口に調理といえども、されど調理です。食欲は体調の目安。おいしいと感じられ、食欲に繋がるような調理をしたいと改めて思った経験でした。Aさんは今、食欲もあり、便秘も改善しています。ご家族も喜んでみえます。バランス良く食事が摂れる事で、便秘改善、食欲向上、まさに調理を通しての援助だと実感しました。(K・N)



鬼は外、福は内／愛宕の家



節分に豆まきをしました。今年は暦の関係で124年ぶりの2/2の節分でしたが、愛宕の家でも数人の方が豆まきに参加しました。節分の意味をきちんと理解して豆をまく方、とにかく手に持った豆を食べたくて、鬼にぶつけずその場で食べてしまう方等、皆さん各々の節分を楽しむ事ができました。昨今のコロナ禍で窮屈な生活を強いられている入居者さん達も、その鬱憤を鬼にぶつけ、邪気を退散させて、福を招き、少しでも幸せな余生を過ごしていただけることを願い、私も一緒に力いっぱい豆をまきました。ちなみに、年の数だけ豆を食べると良いそうですが、皆さん何十個や100個近い豆を食べなければいけなくなるので、そこは割愛しておやつに少しずつ食べていただくことにしました。(K・T)



ヨガ教室に通っていたスタッフによるソフトヨガ体験！みなさん、以外と！？身体が柔らかいところもあり、新たな発見、出来る事見つけが出来ました。

《編集後記》コロナ渦の中、どんな対策をしても感染してしまうかもしれないという不安の毎日。そんな中でも、生活の中で生きる意欲に繋がる関わりが持てるよう、日々試行錯誤しています。まだまだ続く？ワクチンができれば終息する？気持ちが沈みがちになりそうですが…(汗) みなさん一緒に踏ん張りましょう♪ (Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

2月の発送部数 94部